

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・エコポイント需要が順調で、地上デジタル対応テレビ関係も順調に伸びている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・急に寒さがきて、セーターや紳士服のコートなど衣料品に動きが出てきている。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・エコポイント制度の寄与により、テレビが大幅に伸長している。
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこの値上げで買いために走った客は、20日過ぎまで来店頻度が鈍かったが、それから月末にかけては戻ってきているようで、売上は値上げ前に届くような日が出てきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・深夜の時間帯は相変わらず少ないが、朝、昼、夕方の来客が少しずつ増えている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・月半ばに発表になったエコポイントの申請条件変更の報道で、急に客数が増えた。以前買った客は、エコポイントのお得感を知っているため、追加で購入する客も多くなっており、11月末までこの調子は続きそうである。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・エコポイントが11月末までで削減されるとの報道で各商品の販売量が前年比の300%以上の動きである。しかし、テレビはメーカーが完売状態なので今後が心配である。
		ゴルフ練習場（経営者）	販売量の動き	・夏の暑さから急に寒くなり、身の回り品などの冬物が順調に動き出している。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・中旬にきのこが豊作で相場の半値になったとマスコミが取り上げたため、客が急に増えた。報道とタイムラグがあるため客の要望にはこたえられなかったが、客の動きの異常さには驚いている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・大型店がまた1店閉店したが、前回同様、跡地の利用は決まっていない。客は不便で弱っており、仕方なく超大型店に通っているが、購買するのは必要な品だけである。
百貨店（総務担当）		単価の動き	・月1回のチラシでは、食品関係は原価販売で売っているような超目玉商品ばかりで、準得品はあまり売れない。景気がプラスになっている感じは全くない。	
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・9月前半までの猛暑からは打って変わって気温も下がり、秋冬商材の動きが活性化してきている。婦人衣料は堅調に推移しているものの、紳士衣料は依然として低調である。店外催事や、ポイントアップ等、価格の訴求に対する反応は良いが、定価での販売は依然として厳しい。	
スーパー（統括）		販売量の動き	・食品は、鍋物関連が徐々に動き始め、前年を維持している。住居関連はこたつ、毛布などのシーズン品が不振である。衣料品では防寒下着の動向が前年比120%で推移しているが、通常品は苦戦している。2回目子ども手当支給による変化は全く無い。	
衣料品専門店（店長）		来客数の動き	・前年比の購買客数が約22%減少している。	
乗用車販売店（経営者）		販売量の動き	・エコカー補助金が終わり、新車販売がかなり伸び悩んでいる。中古車購入の話もあるが、相変わらず安価な物が多い。	
乗用車販売店（販売担当）		来客数の動き	・3か月前と比べて、景気はとにかく悪い状況で推移している。ミニ展示会や新車の発表会などをやっているものの、来客数はピーク時の半分以下であり、来て見るだけで契約までいかない。来客数があまりに少ないので、来月からは訪問販売に力を入れようと思っている。	
住関連専門店（仕入担当）		販売量の動き	・気温の影響で暖房機器等の冬物の動き出しが鈍く、中旬過ぎからやっと衣替えによる収納用品が動き出した程度である。ガーデニング用品は9月は悪かったが、10月に入り前年を上回る実績となったものの、冬物季節商材のカバーまでには至っていない。	
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ここ3年間年々じり貧の状況が継続している。		

観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・この夏の県内への入込客は、酷暑のおかげで避暑地や海拔の高い場所は好調であったため、当地は堅調であった。9月下旬まで続いた残暑で、いきなり紅葉シーズンを迎え、閑散期が無かったようなシーズンだが、地域全体が景気回復傾向かと言うとそうでもなさそうである。 	
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス渡航が少し増加傾向にあるが、団体の動きが鈍いのは変わらない。円高により海外旅行の客が増加するかと思われたが、大きな動きはあまりない。 	
タクシー(経営者)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の急行電車の着く時間帯に、駅を囲むように自家用車が迎えに来ている状況である。タクシーが暇になるわけで、前年同期比で4%の減収である。 	
通信会社(局長)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・低価格新商品の発売に伴い販売は順調であるが、消費改善を示すものではなく、むしろ節約傾向は強まっている。 	
遊園地(職員)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数はヤング、アダルト、ファミリーの各層で前年を上回っており、全体的に好調に推移している。また7月にオープンした新規施設が好評であり、関連商品の売上が好調に推移しているため、消費単価についても前年を上回っている。魅力的な商品の追加を継続的に行うことで、来客者の消費意欲を刺激している。 	
ゴルフ場(支配人)	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の行楽とスポーツのシーズンを迎え、予約は順調に推移しているが、周辺コースとのプレー料金の競合で、単価はますます低下している。 	
ゴルフ場(業務担当)	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者の客単価が前年比で下回っている。 	
競輪場(職員)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数、購買単価共にさほどの変化は見られない。 ・単価は依然横ばいであるが、来客数は、前年比で4~5%増と上向きに転じている。しかし、客の買物の状況と宿泊の単価等については横ばいであり、来客数は各テナント共に同程度である。客は購入するものを決めているようであり、それを購入した後は他には立ち寄らないため、変わらない。 	
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子		
設計事務所(所長)	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・同業者の集まりでは、仕事が少ない、あっても細かな物件ばかりとの話題が中心で、大型の物件は皆無のようである。周りを見渡してみても、建築されている現況は見られない。何年もの間このような状態が続いているため、明日の生活を維持していくことの不安ばかり募っている。 	
設計事務所(所長)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・下期のスタートとなり、受注や紹介キャンペーンを実施しているが、忙しさの波があり、なかなか安定しない。 	
設計事務所(所長)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・相変わらず建築希望の情報がほとんど無く、あっても様子を聞きたいくらいのものである。 	
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・当地は今紅葉シーズンを迎えており、自家用車の台数から、入込客は例年並みと推測されるが、別荘見学者は非常に少ない。 	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・販売状況が好調な分譲物件は、人気エリアで、かつ価格に値ごろ感があるものに限られており、販売総量の増加にはつながっていない。 	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の小売屋は委託ではなく買取になるので、在庫をそれほど置けないが、客はどうしても在庫の多いほうへ動いていくので、大型店に大分客を取られるようになるなど、弱小の小売店は今後とも大変である。
	商店街(代表者)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルの販売は大型店に向いてしまい、路面店、専門店が極端に悪い。客は来店しても見るだけで帰ってしまい、日ごとに悪化している状況である。
	商店街(代表者)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・中心街にある再開発ビルの完成を祝って周辺の商店街を挙げて応援の売出しをしたのだが、反応は今一つで、客に財布のひもをほどいてもらう難しさを感じている。
	一般小売店[家電] (経営者)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・エコポイント見直しに伴い消費者の購入意識、意欲は出ているが、安価の物が多いので売上アップには結び付かない。ポイントを地デジアンテナ工事にするとポイント分が売掛となり、決済されるまでに3~4か月を要するので、売上単価が低い上に資金繰りの面も大変である。
	スーパー(経営者)	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・節約志向は依然として続いている。

	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・衣料品関係の動きが例年になく苦戦している。食品は全体に低調で前年を下回っている状況であり、夏場の特需に比べると、やや落ち気味である。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・一人当たりの買上点数は減少傾向で、来客数も3か月前からなだらかに減少傾向である。
	スーパー（経営企画担当）	競争相手の様子	・9月に続いて10月も新たな競合店が出店し、その影響で客数、売上共に減少している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこの値上げによって客足が減少し、それに伴って関連商品が売れなくなることは予想していたが、実際相当影響を受けている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・たばこと一緒に衝動買いの客が減ったため、来客数が減少している。
	コンビニ（店長）	それ以外	・たばこの値上がりにより売上は急激に落ちた。客単価を考えると若干減っており、たばこと一緒にのついで買いが無くなっているため、悪くなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金が終了して、販売量はかなり減少している。
	住関連専門店（開発業務責任者）	来客数の動き	・買上品目数の減少が顕著に出ている。また、気温が例年に比べて高めなため、冬物シーズン品の出足が悪い。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ランチタイムについては平年並みに推移したが、ディナータイムの予約が激減している。夜は人通りもなく街は閑散としている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・秋の行楽シーズンだったが、雨の日が多く客が少なかった。土日の来客数が伸びなかったのは、高速料金だけでなく全体に節約傾向が強いからである。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昼間はなんとか来客があるが、夜の来客が極端に少なくなっており、それに伴って客単価も非常に低くなっている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・悪くなる一方で、良くなりそうな感じはまるでない。外で酒を飲む人は急速に減り続けていて、近い将来いなくなるのだろうという感じさえする。
	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・9月から10月に入ってビジネスマンの動きが大変鈍くなり、宿泊予約が減っている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊については、インターネット関係は3、4割とまずまずであるが、団体のエージェンタからの予約は最近さっぱり減っている。宴会等についても、100～200名以上の大きなものについては激減している。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・行楽シーズンのピークを迎えているが、夏の猛暑の影響が本年の紅葉は思わしくなく当地区の宿泊施設の状況もかなり悪いようである。例年ならば平日でも渋滞する道路もほとんどスムーズである。ピークシーズンの不調は観光地においてはすべての関係施設に大きな影響を及ぼす。
	通信会社（販売担当）	単価の動き	・来客数が前年比で約10%減少している。販売数は前年比ほぼ100%だが、廉価商品、特に収益性が低い特価商材のみ売れている。節約志向は変わっていないと感じている。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者が昨年より減少している。
	その他レジャー施設「アミューズメント」(職員)	販売量の動き	・客は競合店を含めて安いところを探しながら移動しているという傾向で、ある程度質を良くしていくと客数が減り、客数を増やそうとすると単価が落ちるといった繰り返しになっている。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・民間の新しい仕事依頼は少なく、一つの仕事が終わって次の仕事に移るまでの期間が以前に増して長くなってきている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・地方での不動産の動きが特に鈍く、デフレが進行している。企業側の仕入れが困難で、地価が下落しているが、デフレ解消ができないと死活問題になる可能性がある。
悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・景気が悪いといっても、ニューファミリー層の売上はそこそこあり、今月に入って中高年層の売上も高くなってきているが、若年層の落ち込みの方が大きい。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこの客の減少による、ついで買いが無くなったため悪い。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・空き店舗が多くなり、土日の来街者が激減している。秋物の購買意欲が無いよう来客数が少ない。

		衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・ついこの間までは、節約疲れの雰囲気で購入をする客も見られたが、最近は買物をしようという意欲すら失せて疲れ切った雰囲気が感じられ、本当に悪い状況である。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・エコカー補助金が終了したため、悪くなっている。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・補助金終了後は車が全く売れない。客は展示会には安売りのオイル交換等や原価割れの記念品を目当てに来る程度であり、本当に厳しい。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・たばこの値上げによる買いだめ等が影響したのか、家族連れの来客数が減少している。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・18時以降の来客数が激減している。
		スナック(経営者)	競争相手の様子	・ここ何年かの中で駅周辺に同業者が増えており、とにかく景気が悪くなっている。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・懐が非常に寒く財布のひもを締め、客が来ないという状況が結構ある。当地は大変不景気で景気の底という状況である。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・今月と来月は、1年の中でも最も売上が上がる月であるが、ここ数年で最低の売上になりそうである。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・10月には独立開業の美容院が3店舗オープンしたが、競合店が多く、客が入店しないため、あまり良い結果が出ていない。経営者も驚いている状況で、つくづく景気は悪くなっていると感じている。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・相変わらず、周辺がシャッター通りになってきており、店の廃業等が続いている。事務所のテナント関係は全く良くないが、ここに来て、飲食店関係との引き合いは増えており、ラーメン屋、スナック、居酒屋等からぼつぼつ引き合いがある。
企業 動向 関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・中国がけん引する形で、油圧ショベルを中心とした建設機械需要が本格的に回復している。下期には多くの会社がリーマンショック前のピーク超えを予想して増産体制を強化しており、この分野での仕事も増え、納期対応に苦慮している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・下請製造業の一部で受注が落ち着いた他は、販売業、物流関係、建設業等の各業種で業績はまだ様となった。依然として中小企業の資金繰りは深刻で、経営改善は遅々としている。
	変わらない	食料品製造業(製造担当)	受注量や販売量の動き	・数量そのものは減っていない。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は昨年並みである。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・主力商品の受注が非常に悪く、他の商品の製造でカバーしているが、人手だけが掛かって、売上、利益にはあまり貢献していない。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・この数か月の推移に変化が無く、相変わらず低迷している。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず当業界は著しく低迷しており、季節的に見積等の問い合わせが始めているものの、価格競争になっている。
		金属製品製造業(経営者)	それ以外	・今月あたりから、取引先の状況も大変悪くなっており、円高の影響が親会社に相当出て来ている。工作機械、特装、産業機械とも同様に悪い。国内では風評により客先の設備投資のキャンセルも出ており、当社の受注見直しも立たない状況である。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・物件も少なく、仕事量を確保するために赤字覚悟の内容で受注している件もある。
		その他製造業[環境機器](経営者)	受注量や販売量の動き	・環境装置2つの業種のうち、一方の灰家電プラント向けフロン回収装置は例年より増加している。もう一方の装置は役所予算で新規事業のため、今年より来年度の予算取り予定の箇所は少ない。

		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・猛暑でエアコン等の動きが大変良く、現在は冬物商材の暖房器具等も確保できている。また、キッチン家電、特にハイグレードな炊飯器や調理器具の動きも良く、家電エコポイント制度の見直しがある中でテレビや冷蔵庫も良くなっている。しかし、ここに来て燃料費が上がり始め、コスト負担も大きくなり、利益は薄くなっている。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・たばこの値上げで禁煙を始めた人が多く、思った以上に来客数が激減している、エコカー補助金終了による販売台数の減少がある、と取引先が話している。その一方で、家電エコポイントの減少前の駆け込み需要が結構あるので、売上が大分伸びている、という取引先もある。
		広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・チラシなどの広告物を受注するために、利益を相当削らないと、土俵にも乗れないため、薄利で、しかも手間の掛かる仕事が通常となっている現状である。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・量販店、小売店共に、最近の景気について、良くはないと答え、何が悪いかと尋ねても、全般的に良いものはないとのことである。チラシ出稿量は前年比85.7%で極めて悪い状況である。
		社会保険労務士	取引先の様子	・売上高等に大きな増減は無く、横ばいの状態が続いている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・円高等による先行きの不透明感から、情報化投資が抑制されている。当面、厳しい状況が続く。
やや悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・決算期が6月末で、7～9月と每期5～6%ずつ売上が減少している。取引先の中には、仕事が少なく、週3～4日しか稼働しないという悲惨な状況の会社も出てきており、次第に落ちてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一段と減産の傾向がはっきりし、通常に戻っている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先については、良い状況の会社もあるが、若干落ちているところが増えてきたような気がする。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注動向を見ると、現状は横ばいであるが、9月からコストダウンが始まったため、単価が約5%程度下がっており、収益が大幅に減少している状況である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業で海外受注に鈍化の動きが見え始めているほか、経済対策の一巡も重なり、踊り場入りの状況が見え始めている。
		金融業（役員）	取引先の様子	・当地では製造業の方々が多く、円高による収益の圧迫が出ている。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・どこでも入居者の方が強く、貸し手の方は価格も含めて条件を下げざるを得ない状況が増えてきている。
悪くなっている		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・ホテル事業は今年度に入って宿泊が伸びていない。客先に営業に回ると、特に中小企業で厳しいという話が非常に多い。人員と出張経費の削減で、出張回数が減っている等の厳しい状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・世の中の景気動向の影響から、中小企業向け電話システム市場の動きが緩慢で、前月同様、客先からの受注が低迷している。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・店頭でも全くとっていいほど動かなくなっており、これは9月の落ち込みより更にひどい状況である。各社とも生き残りをかけ防衛に必死である。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・9月決算では売上が前年比3%減であるが、公共事業削減の中では仕方がない。10月の受注は企業体に参加した結果、前年比13%増が確保でき、一安心であるが、いまだ受注に関しては、同額によるくじ引きであり、先行きは不安である。
		通信業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規受注が無い。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月は、野菜関係の値上がりはまだまだ続いているが、冷凍食品等では活発さも見せている。自動車部品、電子、部品組み立て等も含め、製造業も幾分活発さを見せている。ここにきて、寒さの影響もあって秋冬物の衣料品がやや伸びてきているので、人員募集も少しずつ伸びていくと見込まれている。

	人材派遣会社 (管理担当)	周辺企業の様子	・正社員の雇用が減り、派遣を短期採用する周辺企業が多くなっている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人は増加傾向にある。主要産業の製造業、情報通信業は増加傾向にある。飲食業も猛暑の影響により増加した。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・有効求職者数が前月よりも減少し、ここ数か月間減少傾向にある。また、就職者数もそれに比例し増加傾向にある。
変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・仕事の件数は入るが、売上が少ない。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求職者数では、パートを除く一般は前年とほぼ同じ水準にあるが、パートは前年比3割ほど増加している。内訳では、在職者と自己都合による離職者の増加傾向が目立っており、パート職を希望とする女性を中心に、求職申込及び情報収集に動いている。
	学校[専門学校] (副校長)	採用者数の動き	・採用枠はあっても能力が会社の基準に合わなければ採用されていない。企業側が複数の就職希望者を時間を掛けて選考しているため、妥協は無い。
やや悪くなっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・9月の新規求人は、前月比10%増、前年同月比20%増となった。臨時、契約社員、派遣社員求人が増加し、正社員求人数は同水準だが若干陰りが出てきている。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・ここ数か月に比べ新規求職者が若干増加している。また、求人は前年同月に比べるとかなり落ち込んでいる。
悪くなっている	-	-	-